

安全データシート (SDS)

作成日：2023年10月25日

改訂日：2025年09月30日

1. 化学品及び会社情報

製品名	: シリカゲル乾燥剤 青丸缶
会社名	: 株式会社MonotaRO
所在地	: 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	: 商品お問合せ窓口
電話番号	: 0120-443-509
FAX番号	: 0120-289-888
緊急連絡先	: 所在地と同じ
整理番号	: M251106

2. 危険有害性の要約/GHS 分類

健康に対する有害性

<危険有害性項目>	分類結果
・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2A
・呼吸器感作性	: 区分 1
・皮膚感作性	: 区分 1
・生殖細胞変異原性	: 区分 2
・発がん性	: 区分 2
・生殖毒性	: 区分 1B
・特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分 2(中枢神経系、消化管、肝臓、腎臓)
・特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分 3(気道刺激性)
・特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分 2(神経系、血液系、呼吸器、心血管系、甲状腺)

環境に対する有害性

<危険有害性項目>	分類結果
・水生環境有害性 短期(急性)	: 区分 3
・水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分 3

* 記載がない項目は「区分に該当しない」「分類できない」のいずれかです。

GHS ラベル要素/絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
	: 強い眼刺激
	: 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れ
	: 呼吸器への刺激の恐れ
	: 遺伝性疾患の恐れ
	: 発がんの恐れ
	: 生殖能力又は胎児への悪影響の恐れ
	: 中枢神経系、消化管、肝臓、腎臓の障害の恐れ
	: 長期にわたる又は反復曝露による神経系、血液系、呼吸器、心血管系、甲状腺の障害の恐れ
	: 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

・安全対策

- : 粉塵を吸入しないこと
- : 屋外又は換気の良い場所で使用すること
- : 換気が不十分な場所では呼吸用保護具を着用すること
- : 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用すること
- : 取扱い後は手をよく洗うこと
- : 吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、必要に応じて医師の手当てを受けること
- : 目に入った場合、清浄な水で数分間洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けること
- : 必要に応じて施設した場所で保管すること
- : 容器を密閉して喚起の良い場所で保管すること
- : 内容物残渣は関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄するか資格を有する廃棄物処理業者又は地方公共団体に委託して処理する
- : 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をする

・保管

・廃棄

3. 組成及び成分情報

< 単一製品・混合物の区別 >

: 混合物（非晶質沈降シリカ、塩化コバルト）

< 一般名 >

シリカゲル青

< 化学名 >

: A形シリカゲル（別名：二酸化けい素）

塩化コバルト

< 成分及び含有量 >

: A形シリカゲル 98%

塩化コバルト 2% 結晶水を除いた塩化コバルトの含有量は0.9%

< 化学式及び構造式 >

: A形シリカゲル $\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$

塩化コバルト CoCl_2

< 分子量 >

: 不定

< 化審法官報整理番号 >

: A形シリカゲル —

塩化コバルト 1-207

< CAS No. >

: A形シリカゲル 112926-00-8

塩化コバルト 7646-79-9

4. 応急措置

< 吸入した場合 >

: 大量に吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、必要に応じて医師の手当てを受けること

< 皮膚に付着した場合 >

: 接触した部位を水で洗浄し、皮膚に刺激等がある場合は、必要に応じて医師の手当てを受けること

< 目に入った場合 >

: 目に入った場合、清浄な水で数分間洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けること

< 飲み込んだ場合 >

: 速やかに水でうがいをし、必要に応じて医師の手当てを受けること

5. 火災時の措置

< 適切な消火剤 >

: 不燃物

< 使ってはならない消火剤 >

: 液体系消火薬剤及び水

6. 漏出時の措置	
＜人体に対する注意事項＞	：作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触や吸入を避ける
＜保護具及び緊急時措置＞	：密閉された場所に立ち入る場合は換気を行う ：直ちに適切な距離及び範囲を漏洩区域として隔離する ：関係者以外の立入を禁止する ：風上に留まる
＜環境に対する注意事項＞	：河川等への排出による環境影響のないように注意する ：環境中に放出してはならない
＜封じ込め及び浄化方法及び機材＞	：粉塵が発生しないように注意し、容器等へ収容する ：、床等にこぼれた場合は滑りやすいので速やかに回収する
7. 取扱い及び保管上の注意	
＜取扱い上の注意事項＞	
・取扱者のばく露防止策	：必要に応じて適切な保護具を着用する
・技術的対策	：作業場所は十分に換気をし、粉塵を吸入しない様に出来るだけ風上で作業する
・粉じんの発生防止策	：本製品を取り扱う時は、飲食又は喫煙をしないこと ：本製品の扱い取扱い後は、よく手を洗うこと ：フッ化水素、強アルカリ
・接触回避	：長時間又は反復曝露を避ける
＜保管上の注意事項＞	：危険物を貯蔵又は取り扱うために必要な照明及び換気設備を設けること ：直射日光及び水濡れを避けた屋内の換気のよい冷暗所に密閉した容器を保管し、容器を直接床に置かない ：貯蔵する場所は施錠可能であること
8. ばく露防止及び保護措置	
＜ばく露防止＞	
・管理濃度	：A形シリカゲル 設定されていない 塩化コバルト Coとして 0.02 mg/m ³
・許容濃度	：A形シリカゲル 第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m ³ 総粉塵 8mg/m ³ 塩化コバルト Coとして 0.05 mg/m ³ 日本産業衛生学会(2006 年度版)
・設備対策	：A形シリカゲル TLV-TWA：10mg/m ³ TLV-STEL：— 塩化コバルト TLV-TWA：0.02 mg/m ³ as Co.A3；8EI TLV-STEL：— ACGIH 米国産業衛生専門家会議(2006 年度版)
＜保護具＞	：粉塵が発生する場合は局所排気装置を設置する ：適切な保護具（マスク、ゴーグル、手袋の着用など）
9. 物理的及び化学的性質	
＜化学品の外観（状態、形状、色）＞	：主に球状、或いはその破砕状、青色の固体
＜臭い＞	：無臭
＜融点＞	：2230℃／1713℃
＜ph＞	：4.2 at 0.2M（塩化コバルト）
＜引火点、自然発火温度＞	：非該当（不燃性）
＜比重(密度)＞	：2.1g/m ³ (シリカ)、3.356 m ³ (塩化コバルト)、213g/m ³ (計算値)
＜溶解度＞	：水に不溶(シリカ)

10. 安定性及び反応性

<安定性>	: 通常の取り扱いにおいては安定
<避けるべき条件>	: 多湿、フッ化水素、強アルカリに溶解
<混触危険物質>	: フッ化水素
<危険有害な分解生成物>	: フッ化けい素

11. 有害性情報

<急性毒性 経口>	: 区分 3 塩化コバルト(Ⅱ)(毒性値=80 mg/kg) : 区分に該当しない非晶質シリカ(沈降シリカゲル) (毒性値=5110mg/kg)
<急性毒性 経皮>	: 区分に該当しない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル) (毒性値=5000mg/kg) 分類できない塩化コバルト(Ⅱ)
<急性毒性 吸入/気体>	: 分類できない 区分に該当しない
<急性毒性 吸入/蒸気、粉塵、ミスト>	: 分類できない 区分に該当しない
<皮膚腐食性/刺激性>	: 区分 2 塩化コバルト(Ⅱ) : 区分に該当しない非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<目に対する重篤な損傷性/目刺激性>	: 区分 2 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<呼吸器感作性>	: 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<皮膚感作性>	: 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<生殖細胞変異原性>	: 区分 2 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<発がん性>	: 区分 2 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<生殖毒性>	: 区分 1B 塩化コバルト(Ⅱ) : 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<生殖毒性/授乳影響>	: データなし 塩化コバルト(Ⅱ) : データなし 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)
<特定臓器標的毒性/単回ばく露>	: 区分 3 塩化コバルト(Ⅱ)(臓器=気道刺激性)、非晶質シリカ(沈降シリカゲル)(臓器=気道刺激性) : 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ)(臓器=中枢神経系、消化管、肝臓、腎臓)
<特定臓器標的毒性/反復ばく露>	: 区分 2 塩化コバルト(Ⅱ)(臓器=精巣) 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル) 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ)(臓器=神経系、血液系、呼吸器、心血管系、甲状腺)
<誤えん有害性>	: 分類できない塩化コバルト(Ⅱ)、非晶質シリカ(沈降シリカゲル)

12. 環境影響情報

<水生環境有害性(急性)>	: 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ)含有率 2%(毒性値(魚類=なし、甲殻類=2.4mg/l、藻類=0.47mg/l) 区分に該当しない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)98%(魚類=10000mg/l、甲殻類・藻類=なし)
<水生環境有害性(長期・慢性)>	: 区分 1 塩化コバルト(Ⅱ)含有率 2%(毒性値(魚類=0.13 mg/l、甲殻類・藻類=なし 急速分解性=不明、甲殻類=2.4mg/l、藻類=0.47mg/l) 分類できない 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)98%(魚類=なし、甲殻類・藻類=なし 急速分解性=不明)

<オゾン層への有害性> : 分類できない

13. 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法> : 内容物残渣は関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄するか資格を有する廃棄物処理業者又は地方公共団体に委託して処理する

<容器・包装の適正な処理方法> : 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をする

14. 輸送上の注意

<国内規制>

- ・海上規制情報 : 非危険物
- ・陸上規制情報 : 非該当
- ・航空規制情報 : 非危険物

<国際規制>

- ・海上規制情報 : 非危険物
- ・航空規制情報 : 非危険物

<特別の安全対策> : 輸送時は直射日光及び水濡れを避けて容器の破損・腐食・漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、重量物を上積みしない

15. 適用法令

<労働安全衛生法> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・コバルト及びその化合物として、安衛法による表示対象物質、特定化学物質の管理第2類物質特別管理物質。ラベル表示/SDS 交付義務 対象物質(法第57条関連)(別表第9の172)

<化学物質排出把握管理促進法> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・非該当 化管法政令番号 1-132 (コバルト及びその化合物)

<毒物及び劇物取締法> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・非該当

<化学物質管理促進法(PRTR法)> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・第一種指定化学物質 政令番号(1-156)管理番号(132) コバルト及びその化合物は本製品には適用されない
- ・判定の根拠 法の対象となる製品は第一種指定化学物質を質量1%以上含有する製品であり、本製品中の塩化コバルト(Ⅱ)はCo換算での含有率は0.9%のため対象にならない

<改正化学物質管理促進法(PRTR法)> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・第一種 政令番号(1-156)管理番号(132) コバルト及びその化合物は本製品には適用されない
- ・判定の根拠(旧法に同じ)

<粉じん障害予防規則> : 非晶質シリカ(沈降シリカゲル)

- ・粉じん作業に該当する場合は適用される(基安発1024号別紙による)

<その他国内法令> : 塩化コバルト(Ⅱ)

- ・大防法 有害大気汚染物質(中環審1024第1号別紙による)

<輸出貿易管理令> : 別表1の16項(キャッチオール規制)第28類(無機化学品)HSコード 2811.22(2021.1.1版)

16. その他の情報

<引用文献>

- : シリカゲル製造元 SDS
- : 厚生労働省 職場の安全サイト HP
- : JISHA 日本中央労働災害防止協会 HP
- : 日本中央労働災害防止協会 安全衛生情報センターHP
- : nite 独立行政法人製品評価技術基盤機構 HP
(「GHS 分類結果 シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素 CAS-No.112926-00-8」)

記載内容は現在までに入手できる情報に基づき作成しておりますが、全ての資料・文献を調査したものではないため、物理化学的性質や危険有害性等に関しては如何なる保証をするものではありません。また、注意事項等は通常の手扱いを対象としたもので、特殊な用途にご利用される場合は新たに適切な安全対策を実施のうえ、お取り扱い下さい。